



有意義な夏休みに！

早いもので1学期が本日で終了します。保護者の皆様、地域の皆様には、大変お世話になりました。

明日から長い夏休みに入りますが、子どもたちが交通事故等災害に遭わないことを願うばかりです。そして、暑さに負けずに有意義な夏休みを過ごし、元気に2学期に登校してほしいものです。

終業式では、次のような話をしました。



（一部抜粋）

明日から35日間もお休みになります。35日間ということは、学校に普段登校してくる大体2か月分にあたります。ですから、この夏休みをどう過ごすかによって、皆さんが良い方に大きく成長するチャンスにもなれば、残念ながら悪い方に向かってしまう可能性もあるのです。

この夏休みに、勉強、運動、プール、宿題、習い事など、頑張ったことは、2学期に必ず良い結果につながり、1学期よりもぐーんと成長できることになります。

反対に、だらだらと毎日を過ごし、夜遅くまで起きていて、テレビを観たりゲームをしたりばかりしているとどうなってしまうか。分かりますね。今までできていたこともできなくなり、どんどんダメ人間になってしまいますね。そして、頑張っぐーんと成長した友達との差が大きく開いてしまうことになります。

そこで、校長先生から、この夏休みに頑張っしてほしいことを話します。

それは、夏休みにしかできないような、友達に「自慢できること」を少なくとも一つ、やってみてください。

これは、「家族と海外旅行に行ってきた」とか「誰々から、こんなことをしてもらったよ」という自慢ではありません。日頃自分ではなかなかできないことを頑張っやり遂げたよ」という自慢です。

例えば、

○毎朝早起きして、ジョギングをしたよ。

○本を50冊読んだよ。

○毎日、家族のためになるお手伝いをやったよ。

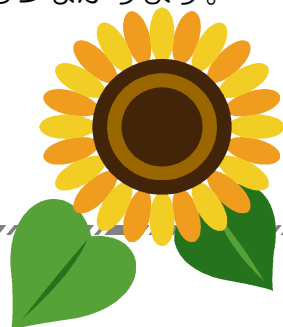
○夏休み前は50mしか泳げなかったけど、100m泳げるようになったよ。

その他、自由研究みたいな形で、自慢できることを果たす人も考えられますね。

35日間という、長い夏休みにしかできないことを見つけて、「自慢できること」にチャレンジしてみてください。このことは、「信頼・名人」にもつながります。

では、長い夏休みを元気に過ごしてくださいね。

8月25日2学期始業式のこの時間に、元気いっぱいの挨拶で会いましょう。



6年生の優しさ伝わる～あさひ特別支援学校との交流～

7月14日（木）に、6年生が、あさひ特別支援学校に出掛けてきました。

体育館で、初めて顔を合わせたときには、緊張していた6年生でしたが、交流が始まると、みんな笑顔。

事前に用意していったリコーダーや鍵盤ハーモニカ、ボウリング、風船バレーボール、読み聞かせ等で、約1時間でしたが、あさひの子どもたちも先生方も大喜びの交流会となりました。6年生にとっては貴重な体験でした。



＜体育館にて、顔合わせ＞



＜各教室で自己紹介＞



＜車いすを押して学校探検＞



＜先生からのお礼の言葉＞

ALTタビサ先生ありがとう！！

昨年度の2学期から、英語活動でお世話になっていたタビサ先生が、母国オーストラリアに帰ることになりました。

タビサ先生は、大学で日本語・日本文化を研究するほど日本語が堪能で、特に高学年に、週1時間の英語活動の指導をしてくださいました。子どもたちは、英語活動を通して、英語でのコミュニケーションの楽しさを学ぶことができました。

タビサ先生の今後のご活躍を祈念いたします。



お知らせ

～更正保護女性会からの贈り物～

7月13日（水）更正保護女性会の代表の皆様より、雑巾と「薬物乱用禁止」を呼びかける和紙人形をいただきました。毎年、この時期に、雑巾と和紙人形をいただき、大変ありがたく活用させていただいております。

更正保護女性会の皆様には、毎週水曜日の放課後、児童の下校の見守りもしていただき、日頃より大変お世話になっております。

